

武蔵野美術大学オープンキャンパス2019開催

武蔵野美術大学（東京都小平市、学長：長澤忠徳）は6月15日（土）・16（日）と8月17日（土）・18日（日）の計4日間に渡り、小平市鷹の台キャンパスにてオープンキャンパスを開催します。

本学卒業生のデザインチーム「minna」がオープンキャンパスのアートディレクターを務め、鷹の台キャンパスを多彩に彩ります。6月のコンセプトは「ZERO to ONE」。ムサビはもちろん、美大、ひいては美術・デザインに対して白紙の状態の方が、未来を拓く一歩目となるオープンキャンパスをお届けします。

オープンキャンパス2019 ZERO to ONE ムサビに「触れる」

日時：2019年6月15日（土）・16日（日）両日10:00-16:30
*開場9:30

場所：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス

*お車でのご来場はお控えください。

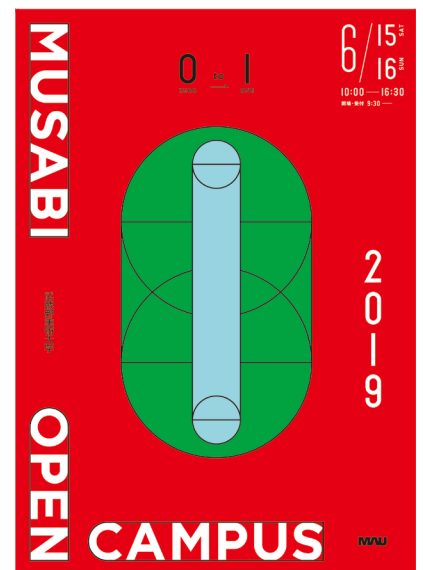
*今年より事前登録制となりました。事前にエントリーを済ませておくと、当日スムーズに入場できます。

[実施内容]

授業課題の作品展示・上映、講評風景の公開、体験授業、ワークショップ

入試実技合格作品の展示、入試・学生生活相談コーナー
美術館・図書館での企画展示、就職・国際交流など相談コーナー
アトリエや工房の見学ツアー、学生や教員との交流企画

特設サイト：<http://musabicaravan.com/>



オープンキャンパス名物企画

学長トーク 「美大に初めて来た人に聞いて欲しい話」

就任5年目を迎えた長澤忠徳学長が、今年も受験生や保護者に向けた「学長トーク」を開催します。美術大学だからこそ伝えられるアートやデザインの重要性、実社会を変えるほどのイノベーションがどのようなものなのかを、学長自ら語ります。この機会をお聞き逃しなく。

日時：6月15日（土）、16日（日）共に11:30-12:10

場所：鷹の台キャンパス 1号館 第1講義室（103教室）



アートディレクターの紹介 デザインチーム:minna

2009年、角田真祐子（空間演出デザイン学科卒業）と長谷川哲士（工芸工業デザイン学科卒業）によって設立。デザインをみんなの力にすることを目指し、ハッピーなデザインでみんなをつなぐデザインチーム。「想いを共有し、最適な手段で魅力的に可視化し、伝達する」一連の流れをデザインと考え、グラフィックやプロダクトなどの領域に捉われない活動を様々な分野で展開している。グッドデザイン賞、日本パッケージデザイン大賞金賞、SDA賞優秀賞 他受賞多数。

2016年度に手掛けたムサビオープンキャンパスのアートディレクションは第51回日本サインデザイン賞（SDA賞）にて優秀賞を受賞。



写真左から：
長谷川哲士 角田真祐子

昨年のオープンキャンパス開催風景



[プレス受付]

お問い合わせ先までお申込みください。当日はエントランス付近でプレス受付を行います。

<本件に関するお問い合わせ先>

武蔵野美術大学 大学企画グループ広報チーム 担当：沢田・西
TEL：042-342-6038 FAX：042-342-6094 E-MAIL：koho@musabi.ac.jp